

畜産研通信

令和8年度第1号



～今号の内容～

- ・令和8年度の研究課題
- ・令和8年度から新たに取り組む課題
- ・家畜改良および種畜供給事業
- ・お知らせ

令和8年度の研究課題

【飛騨牛研究部】

- 未利用資源(県内自給可能)活用による飛騨牛の脂質向上に関する研究 **NEW**
- 黒毛和種牛の枝肉成績予測指標構築に関する研究 **NEW**
- 飛騨牛における受精卵でのゲノム育種手法を活用した効率的な生産技術に関する研究 **NEW**
- ルーメンマルチセンサを用いた牛群モニタリング技術の開発
- ゲノム情報を用いた食味に優れる種雄牛の造成
- 凍結精液の受胎率予測法の確立
- 非分解性蛋白質の早期給与が牛枝肉成績に及ぼす影響

【酪農研究部】

- ドローンを活用した飼料作物の精密管理による省力化と自給飼料生産力向上の実証研究 **NEW**
- 暑熱耐性ホルスタインの生産に関する研究－胚ゲノム選抜による生産とAIを用いた評価－
- 幹細胞由来因子を活用したウシ臨床繁殖学の展開
－繁殖効率向上と乳房炎に関する臨床研究－
- 飼料用稲の利用拡大に向けた早期刈り取りに関する研究
- 乳用未經産牛における経膈採卵技術の開発研究

【養豚・養鶏研究部】

- 抗病性能を有する種豚による新たな養豚生産基盤の構築
- 豚ふん堆肥を主体とした新たな肥料の開発と堆肥利用促進ツールの開発
- 次世代型の豚遺伝資源保存技術の開発
- 抗病性指標の評価を活用した健全養豚実現体系の構築
- 養豚業における抗菌薬の使用量を低減する新たな飼養管理技術の開発
- 鶏舎における防疫向上に関する研究 **NEW**
- 新たな岐阜県産ブランドとなる種鶏の検討 **(変更)**
- 高・低病原性鳥インフルエンザ等の危機管理に対応する遺伝資源保護技術の確立
－始原生殖細胞(PGCs)凍結保存技術等の活用－

令和8年度から新たに取り組む課題

【飛騨牛研究部】

未利用資源(県内自給可能)活用による飛騨牛の脂質向上に関する研究 令和8～10年度

近年の飼料価格の高騰により生産費の増加が課題となっています。また、枝肉6形質については全国的に改良が進み、他県との差別化を目的とした食味性の向上が求められています。

未利用資源である酒粕は、安価であるとともに粗蛋白質が高く栄養価に優れるため増体性に寄与し、米ぬかは粗脂肪が高いため栄養価が高く、オレイン酸を含むため脂質向上が期待できる飼料です。

本研究では、未利用資源の活用により飼料自給率を高めるとともに、飛騨牛の特徴形質の1つである脂質を給与面から高めるために米ぬかの活用を、また、大豆粕の代替として酒粕を利用することで増体と飼料費の削減を図り生産性の向上を目指します。



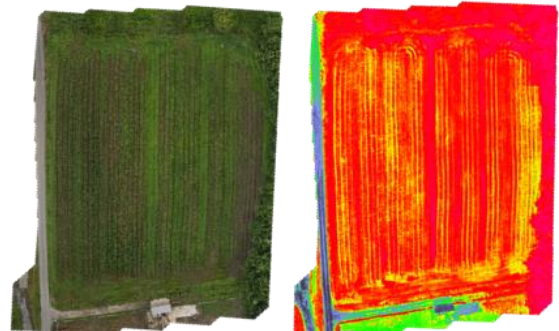
試験予定の肥育牛の様子

【酪農研究部】

ドローンを活用した飼料作物の精密管理による省力化と自給飼料生産力向上の実証研究

令和8～12年度

飼料価格の高騰や労働力不足により、自給飼料の安定生産と圃場管理の省力化が求められています。一方で、飼料作物の生育状況は圃場内でもばらつきがあり、従来の見回りだけでは全体を把握しにくい場合があります。そこで、ドローン空撮と画像解析を活用し、飼料作物圃場の生育状況や生育ムラを可視化します。得られた画像情報が施肥や収穫等の圃場管理の判断支援や、圃場の見回りの省力化に活用できるか研究します。

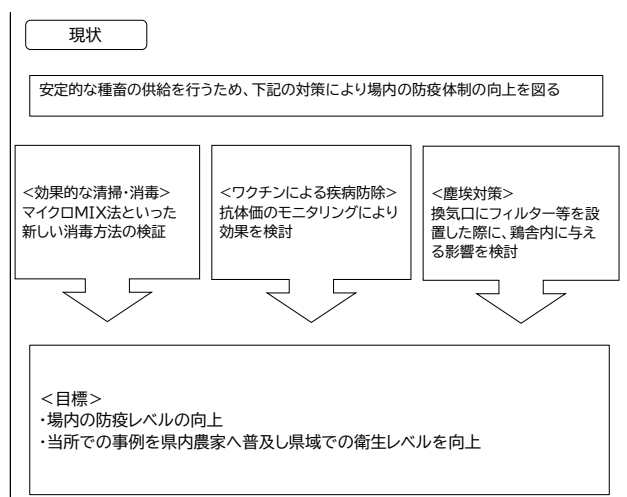


飼料用トウモロコシ圃場のドローン空撮画像

【養豚・養鶏研究部】

鶏舎における防疫向上に関する研究 令和8～12年度

鶏舎における防疫向上に必要となる消毒方法や換気時にウィルスを鶏舎内に侵入させないための吸気口の防塵対策、さらには疾病にかかり難くするために高い抗体価を維持できるようなワクチンプログラム等に関して、より効果的な方法について検討します



家畜改良および種畜供給事業

【飛騨牛研究部】

飛騨牛改良事業

安福系雌牛の系統繁殖を実施し、その中から優良な種雄牛や雌牛の生産を行うことにより、飛騨牛ブランドの維持発展に貢献します。

また、造成された優良な種雄牛の凍結精液を製造・譲渡します。

飛騨牛産肉能力検定事業

飛騨牛ブランドを支える高能力種雄牛を造成するため、種雄牛候補牛の産肉能力検定を行います。

県優良種雄牛造成対策事業

種雄牛造成方針に沿った次世代種雄牛候補となるべき雄子牛の確保と、現場後代検定により種雄牛を選抜するための種雄牛候補牛の産子を確認します。

飛騨牛戦略推進強化事業

全国和牛能力共進会北海道大会に向け、タンパク質を強化した子牛育成マニュアルの普及と牛にとってストレスの少ない輸送ルートの検討を行います。また、ゲノム育種価、エコー診断を活用し、出品牛の母牛の選定、出品候補牛の増産、出品牛の選抜を関係機関と協働で取り組みます。

【酪農研究部】

家畜性判別胚供給事業

畜産研究所内の高能力乳用牛から採取し、雌雄判別した雌胚を譲渡します。県内農家の乳用牛から採取された牛胚を性判別します。

奨励品種指定試験―自給飼料生産・利用拡大推進事業―

自給飼料の生産性向上を図るには、地域の自然条件や利用目的に適応した優良な品種を利用することが極めて重要であり、岐阜県下において、普及を促進する必要があると認められる品種の適応性を調査し、県奨励品種選定の基礎資料とします。

今年度はトウモロコシ7品種の比較試験を実施します。

【養豚・養鶏研究部】

ポーノブラウン改良推進事業

ポーノブラウンの遺伝資源を守るため、精液と受精卵の凍結保存を推進するとともに、県内養豚農家等から導入したポーノブラウンを帝王切開によって特定の豚疾病が存在しない集団（SPF：Specific Pathogen Free）とし、この集団から得られた産子については、発育、強健性（抗病性）に優れた種豚となるよう育種改良に取り組みます。

新たな岐阜県産ブランドとなる種鶏の検討

地鶏として出荷可能な在来種由来血液率を保有しつつ、短期間飼育で肉用鶏（非地鶏）として出荷した場合にも歩留まりがよく、かつ維持に必要なとする系統が少ない新たな岐阜県産ブランド鶏の作出について取り組みます。

お知らせ

畜産研究所「研究成果発表会」を開催します

1 日 時 令和8年7月2日（木）13：15～16：00

2 場 所 岐阜県中濃総合庁舎 5F大会議室（美濃市生櫛1612-2）

岐阜県畜産研究所

ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- | | | |
|------------|------------------------------|-----------------------------------|
| □ 飛騨牛研究部 | 〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 | Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227 |
| □ 酪農研究部 | 〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 | Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974 |
| □ 養豚・養鶏研究部 | 〒501-3924 関市迫間 2672-1 | Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164 |